

第12回愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 議事概要

日時：2020年8月6日（木）午前9時30分から午前10時

場所：愛知県庁本庁舎2階 講堂

1 挨拶、2 議題（1）新型コロナウイルス感染症愛知県緊急事態宣言（案）について

大村知事：

本日はお忙しい中、第12回新型コロナウイルス感染症対策本部員会議に出席いただき感謝申し上げます。1月30日にこの会議を発足してから、今回で12回目である。先般開催してからまだ日も経っていないが、今回は、新たに愛知県緊急事態宣言を発出させていただくということでご参集いただいた。

なお、普段、記者会見では手話通訳をお願いしているが、本日の会議では手話通訳をお願いしていない。マスクをしていると口元が見えないため、マスクを外してマウスシールドを使わせていただく。

挨拶を兼ねて、新型コロナウイルス感染症愛知県緊急事態宣言（案）について、私の方から御報告、御説明させていただく。

まずは、愛知県の感染状況についてである。お手元に配付している資料をご覧ください。7月の前半、7月14日までは、愛知県は9日間、感染者数ゼロの日があった。7月の前半は、14日までの感染者13人のうち、10人が東京由来であった。そういう意味では、予兆、前兆のようなものがあつたのは事実である。その後、7月の後半、15日以降に全くステージが変わってしまった。7月15日に14人になり、10人台、20人台が6日続き、7月21日から50人台が7日続き、そして、7月28日から100人台に乗り、昨日まで9日連続で100人台という大変厳しい状況になっている。その特徴としては、30代以下の若い方が70%で、特に若い方が多い。一方で、軽症・無症状の方が95%と、ほとんどの方が軽症・無症状ということであるが、徐々に年代が40代、50代が少し増えてきているもの事実である。そして、中等症の方が徐々に増えてきているのも事実である。そういった状況を踏まえ、私どもは、7月21日に「警戒領域」イエローゾーン、そして、7月29日に「厳重警戒」オレンジゾーン、4段階に分けた上での第2ステージ、第3ステージに遷移したということで、注意を促してきた。8月2日には、名古屋の繁華街、栄・錦のエリアを限定してピンポイントで、昨日8月5日から24日までの20日間、休業要請と夜8時までの営業時間短縮のお願いをさせていただいたところである。今週の土曜日からは、愛知県全体として、会社も学校もお盆休みに入る。学校は順次、小・中・高と夏休みに入っているが、

土曜日からは会社を含めてしばらくの間は休みとなる。東京、大阪といった大都市圏域は、オフィスや産業・商業中心であるが、愛知の場合は、製造業を中心とした都市圏域である。ある意味、トヨタカレンダーを中心に企業、経済関係の方は回っておられる。それが、8日の夜から9連休になるということである。この会社と学校が全て休みになるというお盆休みの期間を捉まえて、その前後で、県内一斉に行動・活動を自粛していただいて、一気にこの感染拡大を防止していきたい、封じていきたいと思っている。

昨日ある会合で、トヨタ自動車の豊田章男社長と一緒にあった。豊田社長から「社員の中で感染者を複数出してしまっただけで申し訳ない」という言葉をいただいた。私の方から、「昼間はしっかりと仕事をして、日本経済を回してほしい。」と申し上げたら、豊田社長から、「昼間は一生懸命やります。『昼間はしっかり仕事をして、夜は街に出て行くな』という指令を出しました。」という話をいただいた。こういったこともあり、私は昨日、緊急事態宣言を今日の午後に発出することを発表した。お盆休み前後で、徹底的に封じ込めるということをお願いさせていただく。豊田社長からも、「それはいいことですね。徹底的に抑えましょう。」という言葉をいただいた。昨日、緊急事態宣言を発出させていただきたいと申し上げたが、本日正式に、この新型コロナウイルス感染症対策本部員会議において、お諮りをさせていただく。

新型コロナウイルス感染症愛知県緊急事態宣言（案）をご覧ください。宣言（案）についてご説明させていただきます。

「愛知県緊急事態宣言」、全国及び愛知県の新型コロナウイルス感染症第2波の感染状況等に鑑み、その拡大を防止するため、愛知県緊急事態宣言を発出する。

経過は、先ほど私が申し上げたとおりである。7月15日に16人の感染者を出して以降、7月31日に過去最多の193人に達するなど、今回の第2波は、極めて厳しい状況であると認識している。

そして、7月21日に「警戒領域」、7月29日に「嚴重警戒」を出し、8月2日には、名古屋の繁華街の休業要請を発出させていただき、昨日5日から、休業や時間短縮をお願いしている。そういった機会を捉まえて、お盆休み期間の前後に、この緊急事態宣言を出して、一気に感染拡大を防いでいきたいと考えている。ぜひとも、県民の皆様、医療・福祉関係の皆様、市町村、団体、企業の皆様、一体となって、オール愛知で、この新型コロナウイルス感染症を克服していきたいので、何卒よろしくお願い申し上げます。

対象区域は、愛知県全域であり、対象期間は、本日8月6日（木）から、休業要請の期間と合わせて8月24日（月）までの19日間。昨日、アナウンスしたので、実質20日間と考えていただいてもよい。お盆休みを挟んだ前後の期間、一気に押さえ込んでいきたい。

次の別紙1、「緊急事態宣言 県民・事業者の皆様へのお願い」である。3本柱の最初の柱は、「不要不急の行動自粛・行動の変容」である。これは7月29日に嚴重警戒を出させていただいた際のお願いに、追加でお願いする項目を加えたものと考えていただければと思っている。特に、お盆休み期間中は、不要不急の行動の自粛をお願いしたい。合わせて、引き続き、20代・30代の若い世代の方々の行動の自粛、5～6人以上の大人数での会食や宴会の自粛、「感染しない、感染させない」ということで、高齢者、妊婦、基礎疾患のある方々への配慮をお願いしたい。また、接触確認アプリCOCOAを積極的に活用し、検査の受診など保健所の早期サポートにつなげていただきたい。

2つめとして、県をまたぐ不要不急の移動自粛をお願いしたい。お盆休み期間中の帰省については、もう一度、家族と検討をお願いしたい。体調が優れない場合は、帰省や旅行を控えていただきたい。帰省先や旅行先でも、居住地や目的地の自治体が出す最新情報を確認し、体調管理と基本的な感染防止対策の徹底をお願いしたい。また、引き続き東京等への不要不急の移動の自粛、そして感染が拡大している都市域への移動に際しては、自覚を持って適切な行動をお願いしたい。

3つめ、感染防止対策の徹底である。感染拡大予防ガイドラインを遵守していただくようお願いしたい。また、事業者は「安全・安心宣言施設」PRステッカー・ポスターの掲示、利用者はステッカー・ポスターを掲示した施設を利用し、感染防止対策の徹底に協力をお願いしたい。また、8月5日から、名古屋市中区の栄・錦地区で営業時間の短縮等をお願いしている。

別紙2は、営業時間の短縮等をお願いした際のメッセージである。

以上、愛知県緊急事態宣言の内容を説明させていただいた。本日から8月24日まで、愛知県緊急事態宣言を発出する。危険領域、レッドゾーンということである。そして、名古屋市と共同で、本日夜から、テレビ塔及びオアシス21をレッドにライトアップさせていただく。イエローからオレンジ、そして今日からレッドとなる。これは名古屋市との共同で行うことであるので、よろしくをお願いしたい。また、不要不急の行動自粛・行動変容をお願いしたい。特に、お盆休み中の行動自粛をお願いしたい。昨日、政府の分科会においても、座長から政府に対し、お盆休み中の行動の自粛を要請されたところである。同じタイミングで、本県としても、お盆休み中の行動規制を含めた、行動の自粛をお願いするものである。何卒、お願いしたい。加えて、県をまたぐ不要不急の移動自粛、感染防止対策の徹底をお願いしたい。

引き続き、県民・事業者の皆様には、現下の非常に厳しい状況を御認識いただき、このお盆休み期間、そして前後の期間を捉まえて、この愛知・名古屋から新型コロナウイルス感染症を一気に抑え込んでまいりたいと考えている。よろし

くお願い申し上げ、私からのお願い、そして愛知県緊急事態宣言の説明とさせていただきます。

愛知県緊急事態宣言について御説明させていただいたが、この点について御意見、御質問があればお願いしたい。

それでは特に、御意見、御質問がないようなので、この新型コロナウイルス感染症愛知県緊急事態宣言についてご了承いただいたということで、この案のとおり、8月6日付で緊急事態宣言を発出させていただく。そして、先ほども申し上げたように、本日夜7時30分からテレビ塔及びオアシス21を、県と市の共同で、危険領域ということでレッドにライトアップさせていただく。併せてよろしくをお願いしたい。

名古屋市中区の栄・錦の営業時間短縮等の要請については、昨日からであるが、名古屋市の消防の皆さん、加えて県の職員も入って、夕刻に栄・錦の店舗を巡回しているところである。こうした形で周知をさせていただきながら、御理解、御協力をお願いできればと考えているので、よろしくをお願いしたい。

なお、この県独自の緊急事態宣言を発出するのは、沖縄県に次いで本県は2例目となっている。それだけ、今、本県が置かれている状況は大変厳しいということで、御理解いただければと思う。

また、お手元の資料で御確認いただければと思うが、昨日も147人の感染者が確認されたが、一方で、軽症の方が多く退院退所等が136人であり、入院等の純増が11人であった。そして一昨日は120人の新規の感染者が確認されたが、退院退所等が116人ということで、純増が4人ということであった。今は無症状であれば、10日間軽快であれば退院可、症状が軽症であれば、軽快してから72時間で、検査なしに退院可という扱いとなっており、これは周囲への感染の心配がないからであるが、どんどん回転が速くなってきている印象である。大府の県健康プラザも、開所して今日で10日になるが、これまで53人が入所しており、入っては退所して、という回転を繰り返しているところである。今日の時点で入院者が237人、入院調整者が63人、自宅療養者が1,075人であり、また、中等症の入院の方が87人、重症の方が7人という状況である。また、検査件数も、PCRが900件、抗原が90件でほぼ1,000件、先週一番多かったときが1,300件であったが、この件数をさらに増やしていきたいと考えている。県、名古屋市、中核市三市、そして各医療機関の御協力をいただき、増やしていきたいと考えているため、引き続きよろしくをお願いしたい。

(有識者・関係団体、政令市・中核市意見)

大村知事：

本日も、有識者、関係団体の皆様に御参加いただいているが、順次御発言をお願いしたい。

医療専門部会長 長谷川部会長：

まず、大村知事には非常に良い時期に、大変重要な決断をしていただいたと思っている。特に現場で働いている医療関係者の方にとっては、大変大きな支えになるだろう。1週間前の検証委員会においては厳しいことを申し上げたが、やはり目の前ではなくて、これから先、2週間後、3週間後、1ヶ月後の状態を見据えて、今回の決断に至ったものと考えている。これにより感染者数が減っていけばと思う。少しずつ中等症も増えてきており、全国的なデータを見ても、中等症も年齢的に高齢者に少しずつシフトしている。本県においても中等症は少しずつ増えてきているため、この時期の宣言は大変重要だと考えている。

大村知事：

感染状況を確認して、適切に対応していきたいと考えているため、引き続きよろしくをお願いしたい。

愛知県医師会 柵木会長：

先週の本部員会議においては、緊急事態宣言を出す時期を誤らないようにと申し上げたところであるが、私から見ても、今回の愛知県独自の緊急事態宣言は時宜を得たものであると考えている。ただ、時限的ということで、お盆を挟んだ20日間、第1波のときは、まさしく燃え上がる炎が水を掛けたように収まっていったという事実はあるが、今回、お盆を挟んで同じように発出したことによって、そこまでの効果が出るのかという一抹の懸念がある。ここで、宣言終了時の感染状況がどのくらいであれば、予定通り終了して、また、どのくらいであれば、場合によっては延長しなければならないのか、知事の考えを伺いたい。

大村知事：

まずは、実質20日間の休業要請とあわせて、徹底的に抑えていきたいと考えているところである。その上で、状況を注視して適切に対応することになるかと思う。この土曜日から会社も学校も休みになるため、昼に公園に行ったり、生活に必要な外出をすることは結構であると思うが、夜のお酒を伴うような、大人数での会食などは、今回は徹底的にお控えいただき、抑え込んでいきたいと考えている。それをどれだけ丹念にやれるのかだと思いうため、まずはしっかりとやって、その上で、お盆休みが明けたあたりの状況で、また医療関係の皆様を中心に、御相談をさせていただきたいと考えている。

愛知県病院協会 伊藤会長：

この緊急事態宣言について、非常に良いタイミングで発出していただいたものと考えている。同時に、感染者が増えることのリスクは、当然のことながら高齢者を含めた重症者が増えてくるということであるが、この点、感染者の増加は、医療提供体制の崩壊のリスクに直面するということ、是非啓発活動を推進して、県民の皆様にお伝えいただきたいと考えている。

コロナの重症者の治療は非常にエネルギーがかかるが、それ以上に、コロナの対応により、一般の急性疾患への対応が困難になりつつある。これは医療の崩壊の危機と捉えざるを得ないということであるが、救える命が救えないということはあってはならない。感染拡大を抑止していきたいということを含め、こうしたことを県民の皆様にご理解いただけるような啓発をお願いしたい。

大村知事：

医療関係者の皆様には、日頃から御尽力いただき感謝申し上げます。あわせて明日から県内2つ目の入所施設として、東横イン名駅南を開設し、805室を確保することとなるが、医師、看護師の確保については、病院協会の皆様に大変お世話になっているところであり、心から感謝申し上げます。引き続きよろしく願いしたい。

名古屋商工会議所 内田専務理事：

愛知県の当局の方におかれては、新型コロナウイルス感染症の感染防止、そして社会経済活動の両立について、日夜取り組まれていることに感謝申し上げます。名古屋商工会議所においても、1月末より新型コロナウイルスに関する相談窓口を設置しており、4月から6月のピークと比べると、ここところは落ち着いていたが、7月の後半からは、相談に訪れる方の数が増えてきたところである。

7月の下旬から名古屋市内で急速に拡大しており、本日の緊急事態宣言となるわけであるが、感染拡大を抑え込むためには避けられないことであると受け止めている。経済活動が本格的に再開していない中で、中小・小規模事業者にとってはさらに厳しい状況になる。最も重要なことは、手元資金の確保である。引き続き、各種支援制度の充実、そして休業や営業時間短縮を余儀なくされた際の支援が十分に図られるようお願いしたい。何より最大の課題は医療提供体制の充実であるため、総力を挙げて、一日も早く収束できるよう、全力を挙げて取り組んでいただくようお願いしたい。

一般社団法人中部経済連合会 新井総務部部長：

日々全力で取り組んでいただいている大村知事、そして関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。今回の緊急事態宣言については、新型コロナウイルス感染症の患者数が再び増えてきたことを踏まえ、これ以上の感染拡大を抑止するために不可避だと考えている。先ほどの大村知事の話の中にもあったとおり、PCR検査件数を増やしていくことが重要なことであると考えているため、関係者の皆様におかれては、大変だとは思いますが、引き続き取り組んでいただきたいと考えている。

また、産業界としても、これまで実践してきた時差出勤、テレワーク、3密の回避ということで、取組を徹底して、感染拡大の防止に努めてまいりたいと考えている。本日、国に対しても要望する予定であるが、県におかれても継続的な支援について引き続きお願いしたいと考えている。

日本労働組合総連合会愛知県連合会 佐々木会長：

大村知事はじめ、愛知県の皆様、医療関係者の皆様に対し、新型コロナウイルス感染症に御尽力いただき敬意と感謝を申し上げます。

本日の緊急事態宣言については、現下の感染拡大を踏まえると、県民の安全を確保するという観点からはやむを得ないものと受け止めているが、労働者、生活者の立場から一言申し上げると、お盆休み、夏休みを目前に控えたタイミングであり、旅行や帰省の計画を立てていた方も多くいるものと思うため、相当戸惑っている方がいるということも是非受け止めていただきたい。そのため、県民の方々には、是非丁寧な説明をお願いしたい。

加えて、国のG・O・T・oトラベル事業、これはこのタイミングで事業を実施するという事は、明らかに失策であると言わざるを得ない。これに翻弄されている方も相当いるのではないかと思うため、是非国に対しては、適切な施策を講ずるように、また地方自治体が足並みを揃えた対応をとることができるように、国に対して強く要請していただきたいと考えている。

それから、新型コロナウイルスが発生して、休業や操業短縮を今もなお続けている事業者がたくさんある。雇用や収入の減少など、生活に影響を受けている方もたくさんいると思われる。県は様々な施策を行っていただいているが、改めて実態をよく確認していただき、雇用対策や生活支援のための施策をお願いしたいと思う。一方で、雇用や生活を守るという意味では、経済を回していくということが非常に重要であると思うため、県内の経済活性化のための景気拡大の取組や需要喚起の取組、是非こういった取組をお願いしたい。

また、当方としては、こうした事態を重く受け止めて、構成組織の各組合を通じて、働く方やその家族に対して、今回の緊急事態宣言や現下の状況をしっかりと周知してまいりたいと考えている。

大村知事：

下部の組合員の方々にしっかりと周知をお願いしたい。また、県としてもしっかりと雇用対策に取り組むとともに、これを最重要課題と思っているため、引き続き協力して進めてまいりたいと考えている。よろしくをお願いしたい。

愛知県市長会 相津事務局長：

現在の県下の新型コロナウイルス感染症のひっ迫状況を踏まえて、市としても、できるだけ協力をしていくということが合意されている。実際に、ある市長さんからは申し出もいただいております。今後県から正式な要請いただいた際は、今申し上げたような趣旨で連携を取り、積極的な人的支援を行ってまいりたいと考えているため、よろしくをお願いしたい。

愛知県町村会 宇佐見事務局長：

軽症者等の宿泊療養施設について、事務方のスタッフの応援を、町村の職員にもお願いしたいということがあれば、今後第3、第4のホテル等の準備をされるようなことがあるかもしれないので、それに備えて、しっかりと事前準備をしてまいりたい。

これから災害シーズン、台風のシーズンとなるが、愛知県はいち早く避難所における新型コロナウイルス感染症のガイドラインを作っていただいて、さらに市町村職員に対する研修もやっていただいた。これからの避難所のあり方について、非常に迅速な対応をしていただいたことに感謝申し上げます。

名古屋市保健所：

本市の発生状況であるが、8月1日の土曜日に109名となり、過去最大となったが、今週に入って3桁を超えることはなくなった。しかしながら、発生者の年齢層が、若年者から高齢者にシフトしつつあり、こういったことを踏まえると、今週末から来週にかけて入院患者が増えていくのではないかとすることを想定して、病床の確保に努めてまいりたいと考えている。

今週に入って連日、入院調整に戸惑う事例もあるため、解消できるように努めてまいりたいと考えている。引き続きよろしくをお願いしたい。

豊橋市保健所：

7月末までは、1日に1名程度ということであったが、昨日、一昨日で3、4名ということで増加傾向にあり、今後の患者の増加を危惧しているところである。入院協力医療機関の拡充については、各所からの御協力をいただき、準備を

進めているところである。

岡崎市保健所：

本市においても、毎日のように陽性者が発生している。最近少し気になるのが、60代の方の新規陽性者が増えているところであり、その点、若干懸念しているところである。

本日の緊急事態宣言の発出により、収束に向かうことを期待している。

豊田市保健所：

本市でも感染者は増えてきており、本市では、8月を新型コロナウイルス感染症の対策強化月間と位置付けている。この度、県でも緊急事態宣言が発出されるということで、両者の内容をしっかりと踏まえて、一層対策を推進してまいりたいと考えている。

一点お願いがあり、先ほど知事が、医療提供体制について、全体を見れば“よく回っている”との発言があったが、地域単独で見れば、病床がひっ迫している状況も発生しており、また、入院のマッチングの際に調整が上手くいっていない、例えば遠隔地であれば、なかなか患者さんの同意が得られないということもある。先ほども意見が出ていたが、引き続き医療体制の強化や宿泊療養施設の確保に努めていただければと思う。

閉会挨拶

大村知事：

名古屋市はじめ中核市3市の皆様には、毎日の検査件数について、県として速やかに公表できるよう、毎日毎日無理なお願いをさせていただいているが、最大限の努力をいただいております心から感謝申し上げます。また、検査件数をさらに増やしていきたいと考えており、引き続き、一体となって進めてまいりたいと考えているため、よろしくお願ひしたい。

本日は新型コロナウイルス感染症の第2波の中において、愛知県緊急事態宣言を発出した。現下の厳しい状況について、引き続き、本日出席いただいた皆様、そして県民、事業者の皆様には御理解、御協力いただき、新型コロナウイルス感染症を克服してまいりたいと考えている。

今後とも御指導、御鞭撻をお願いして、本日の第12回本部員会議を終了させていただく。